

# 学位論文申請手続きのマニュアル

## 【修号】

修士課程正規修了者・在学期間延長者用

久留米大学 大学院医学研究科

修号の学位申請においては、審査から学位記授与まで最短2ヶ月かかります。審査を受けるには、少なくとも主論文1編を完成させ、申請書一式と共に提出する必要があります。当該年度で退職される教授が指導教授や主査となる場合は、早めに申請手続きを開始してください。

## 1. 学位申請の条件

久留米大学には5つの大学院研究科があり、医学研究科では、博士（医学、医学バイオ統計学、看護学）、および修士（医科学、看護学）の学位の取得が可能。学位申請については事前に指導教授と詳細について確認をすること。

## 2. 論文提出手続き締め切り及び提出先

- ①正規修了者（2年間）の場合：原則として卒業予定年度の12月より申請を受け付ける。修士学位申請においては、論文が出来上がっていることが条件であり、書類一式の受理後から学位記授与まで最短2ヶ月かかるため、余裕を持って準備を進めること。提出期限等細かい日程については大学院ホームページより「学位申請情報」→「5. 学位論文の提出スケジュールについて」→「令和〇年度 修号 学位申請書類提出スケジュール」を参照のこと。学位記授与は同年度3月末。
- ②延長者の場合：論文ができ次第、随時受け付けるものとする。提出物は①正規修了者の場合と同じ。

申請書類一式の提出前に、下記「3. 提出書類」の記入および提出物を入手、印刷し、主論文・参考論文各1部と共に医学部事務部庶務課（教育一号館2階）Tel：0942-31-7527 (ext:3014) 学位担当者へ提出すること。下書きのチェック時に、清書時の注意点や申請の流れ、スケジュールの説明がなされるので確認すること。なお、主論文が共著（申請者が筆頭著者）の場合、大学院医学小委員会（毎月初旬に開催）での審議が必要であるため、申請準備時に庶務課学位担当者に申請のスケジュールや提出期限を確認すること。

## 3. 提出書類一式 【記入例を参考に、PCで作成すること】

規程書式	書類名	部数	詳細
様式1	学位論文審査願 (HPよりダウンロード)	1	記入例を参考に記入する。
様式2	論文目録 (HPよりダウンロード)	1	記入例を参考に記入する。
様式3	論文要旨 (HPよりダウンロード)	1	記入例を参考に記入する。
様式4	履歴書 (HPよりダウンロード)	1	記入例を参考に記入する。
なし	主論文1編	4	レポート形式で学位論文とする場合は、単著論文しか認められません。印刷公表済のものを学位論文にする場合に限り、共著論文の申し合わせ（ホームページよりダウンロード可）により共著論文（著者複数名）も学位論文として認められています。その場合、ホームページより「承諾書・誓約書」、「共著論文内容における申請者の役割についての証明」をダウンロードし提出してください。
なし	参考論文の別冊 (作成している場合のみ提出)	各3	
あり	承諾書・誓約書 (HPよりダウンロード)	1	該当する場合のみ提出：「学位申請の取扱いについて（申し合わせ）」（ホームページよりダウンロード可）により共著論文（著者複数名）も学位論文として認められています。その場合、書式をダウンロードし提出してください。共著者が日本人でない場合、英語の承諾書の様式を使用してください（ホームページよりダウンロード可）。
あり	共著論文内容における申請者の役割についての証明 (HPよりダウンロード)	1	
あり	単位習得（取得）証明書		学位担当者から教務課担当者に依頼する手順となっていますので、本人の手続きは不要です。
—	写真 4cmX3cm (カラー・白黒いずれも可)	1	正装（スーツ・ネクタイ着用）のこと。白衣は不可。裏に氏名を記載すること。
—	審査手数料及び審査手数料		不要

※論文が、人または動物を対象とした研究の場合や、遺伝子組換えを行った研究の場合には、承認書あるいはそれに準じた書類を提出してください（令和5年3月9日大学院医学研究科委員会承認）。  
「学位申請の取扱いについて（申し合わせ）」を参考のこと。

## 5. 学位申請（修号）から学位授与までの流れ



記入例

修様式 1

清書提出日の年月日、手書き可

令和〇年〇月〇日

久留米大学学長 ○ ○ ○ ○ 殿

指導教授 ○ ○ ○ ○ 印

医学研究科〇〇学専攻

平成 ○ 年入学

氏名 ○ ○ ○ ○ 印

学位論文審査願

「医科学」「看護学」  
の何れかを入力

このたび久留米大学学位規則第3条の2第3項により修士（ ）の学位を受けたいので、  
下記のとおり関係書類を添え、学位論文を提出いたしますから御審査下さい。

記

1. 主論文 ○ 編 ○ 冊 (例：1編1冊)
2. 参考論文 ○ 編 ○ 冊 (例：1編1冊)
3. 論文目録
4. 論文要旨
5. 履歴書
6. 単位修得（取得）証明書

修様式 2

空欄

論文目録

修第

号氏名 ○ ○ ○ ○

論文題名、著者名は略さず、別刷りの記載内容と同様に記載すること。英文の場合、大文字・小文字を区別。

主論文

(和文例)

題名 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

著者名 ○ ○ ○ ○、 ○ ○ ○ ○、 ○ ○ ○ ○、

雑誌名 ○ ○ ○ ○ 第 ○ 卷 (○頁~○頁) 平成 ○ 年

○ 編 ○ 冊  
(例：1編1冊)

参考論文 【作成している場合のみ記入】

記入方法は、主論文に準じる。欧文誌（学術誌）への投稿論文の場合、学位担当者へ要件や記入例を確認すること。

(和文例)

題名 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

著者名 ○ ○ ○ ○、 ○ ○ ○ ○、 ○ ○ ○ ○ ○ ○

共著者のうち、学位申請者の名前にアンダーライン

雑誌名を記載 第 ○ 卷 (○頁~○頁) 平成 ○ 年

○ 編 ○ 冊  
(例：1編1冊)



修様式 4

修第

空欄  
号

ここに記入されたとおりの名前、本籍地、生年月日が学位記に記載されるので、戸籍通り正確に記載すること。例) 高・高、崎・崎、邊・邊 等

履 歴 書

何れかを○印で囲む

氏 名 ○ ○ ○ ○ 男  
(ふりがな) ○○ ○○ ○○ ○○ 女

生年月日 昭和／平成 ○○年○○月○○日 生

本 籍 ○ ○ ○ 県

現 住 所 ○○県○市・郡○○○町・村○○○番地

入学・修了などは正式な年月日を記載するこ

学 歴

平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日

卒業

平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日

久留米大学大学院医学研究科

○○○専攻修士課程入学

平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日

第 年次在学中

■休学期間がある場合  
平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 休学  
平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 復学  
平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 第2年次在学中

上記のとおり相違ありません

令和 年 月 日

必ず自署、要押印

清書提出日の年月日、手書き可

氏 名 ○ ○ ○ ○

空欄

### 修士論文審査結果報告書

報告番号	修 第	号	氏名	○ ○ ○ ○
審 査 担 当 者		主 査	(印)	
		副主査	(印)	
		副主査	(印)	
主論文題目： ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ( 和 訳 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ )				

主論文が英語の場合は和訳をつけること  
(「様式2」の論文目録と同様)

#### 審査結果の要旨(意見)

空欄

審査の際に、主査の先生に意見を入れていただく部分です。  
申請書の清書提出時には「空欄のまま」提出してください。

#### 論文要旨

「修様式3」の論文要旨をそのまま入力。

修様式3 論文要旨と同じ内容を入力すること。

判定 (可否)

必ず1ページ内にまとめること



主論文が共著の場合のみ必要  
該当する場合、共著者全員から「承諾書・誓約書」に署名をいただく必要があります。(主論文が単著の場合は提出不要)

記入例

# 承諾書 誓約書

手書き可

令和〇年〇月〇日

久留米大学大学院医学研究科  
科長 ○ ○ ○ ○ 殿

主論文が英文の場合は  
必ず和訳を入れること。

論文題名

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

( 和 訳 )

学術雑誌名

略誌名ではなく正式な雑誌名を  
記載すること。

○ ○ ○ ○

第 卷 , 頁 ~ 頁 , 年

上記論文を 氏が久留米大学医科学修士の学位申請論文として提出することを承諾します。

なお、私共当該論文を学位論文として過去において使用したことがなく、また、将来においても使用しないことを誓約します。

申請者氏名

印

共著者氏名

印

//

印

//

印

共著者氏名は必ず自署のこと。共著者が複数の場合は、必要枚数コピーし全員分の署名を集めること。

主論文が共著の場合のみ必要  
該当する場合、役割の証明が必要です。  
(主論文が単著の場合は提出不要)

記入例

## 共著論文内容における申請者の役割についての証明

申請者氏名 ○ ○ ○ ○

○○ ○○ ○○○○、○○○○、○○○○ を担当  
○○ ○○  
○○ ○○  
○○ ○○  
○○ ○○  
○○ ○○  
○○ ○○

※ 申請者も含め、共著者全員の役割分担を具体的に記載すること。

(例) 実験課題発案、実験計画立案、実験遂行、実験遂行補助、実験モデル作成、実験指導、実験検体採取・管理、特別な実験器具・研究に必須の試薬提供、結果解析、結果考察、データベース作成、データ保存と管理、論文作成、論文執筆指導、実験統括、等。

(注)「英文校正」や「最終承認」のみは、共著の役割として不適切です。

※ 英語版の役割証明依頼の文案はウェブサイト上からダウンロード可能。

※ 共著者の氏名表記は、承諾書 誓約書のサインと同じであること。

例) 久留米 太郎 ≠ 久留米 太朗  
久留米 次郎 ≠ 久留米 二郎  
高 ≠ 高  
崎 ≠ 崎

上記の通り相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

指導教授の氏名は必ず自署のこと。

清書提出日もしくはそれ以前の年月日、手書き可

指導教授名 \_\_\_\_\_ ⑩